スーパービジョン制度発足にあたり

日本学校教育相談学会
会長　栗原　慎二

日本学校教育相談学会に「学校カウンセラー・スーパービジョン制度」が2015年度に誕生しました。

本学会は、1995 年度から「学校カウンセラー」を認定し、現在７００名以上の学校カウンセラーがそれぞれの現場で活躍しています。そこで、この「学校カウンセラー」の資格を有している方々が今まで以上に活躍できるように支えようと本学会では５年間準備をしてきました。そして今「学校カウンセラー・スーパービジョン制度」が誕生したのです。この制度は、学校カウンセラーの資質の向上を目指し、本学会がより社会に貢献できるようにするためのものです。

本学会の特色は、学校や教室の中に入れる会員が多いことです。学校現場の様々な課題に取り組んでいる会員や学校カウンセラーが大勢います。しかし、学校現場の悩みや課題はますます複雑化し、困難になっています。そうした学校現場の課題に対応するために、本学会ではスーパーバイザーの認定についても工夫をしました。学校現場に精通し、しかもカウンセリングの知識や技量に秀でた人たちです。

そもそもカウンセリングにおいては、診断・面接の能力を高めるために、カウンセラーが担当したケースについて、より専門的な知識と技能を持つ指導者に意見または指導を受けることが望ましいのです。これまで、本学会には学校カウンセラーがこの専門的な役割を担ってきました。今後はスーパーバイザーがより高度な立場でこれを担います。

まだまだ未知の世界なので多くの課題があるでしょうが、会員の皆様の英知を結集してこの制度を育てて行けたらと思います。